学校番号	３２２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次 （普通科文系）
使用教科書							
副教材等	2026 大学入学共通テスト対策　改訂版　つかむ生物基礎（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎で学習した内容を大学入学共通テストやさかのぼってセンター試験の過去問を使用して演習形式で総復習し理解を深めることを目的とします。昨年度１年かけて行った「語句を暗記するだけ」の勉強ではなく、「なぜそのような生命現象が起こるのか」「なぜそれが生物にとって必要なのか」といった発展的な内容まで意欲的に学んで吸収していってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学と日常生活や社会との関わりや発展的な概念や原理・法則について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
生物学のよりを理解し、科学的に考えられるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
生物学的に探究する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また，観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物基礎の総復習	第3章　生物の多様性と生態系(2年3学期の復習を兼ねる)	a:生態系における生物の位置づけを理解する。 b:生態系の成り立ちや間接効果について考えることができる。 c:人間生活が自然環境から多くの恩恵を受けていることを実感し、環境保全への意識を持つ。	ワークシート・中間考査	ワークシート・中間考査	学習状況・ワークシート
		第1章　生物と遺伝子 第2章　ヒトのからだの調節	a:　血液や肝臓,腎臓が体内環境を一定に保つ役割を持っていることを理解する。 b:　体液の恒常性における腎臓と肝臓の働きを考えることができる。腎臓が塩類濃度の調節に果たす役割を考え、発表することができる。 c:　体内環境の恒常性に関心を持ち，体液の成分や体液のはたらき，循環に興味を持ち、発表することができる。	ワークシート・期末考査	ワークシート・期末考査	学習状況・ワークシート
2学期	過去一〇年分の生物基礎の過去問題	今年(2026 年1月)の本試験・追試験の徹底分析 2020 年度に大学入学共通テストが開始されて以降の過去問題に挑戦	a:実際に出題された問題を隅々まで解読し、来年の共通テストの対策を万全にする。 b:実際に出題された問題をもとに、来年の共通テストへの出題が予想される問題を効率よく解答する練習を重ねる。 c:より速く、より確実に得点できるように生物基礎の個々の分野に改めて興味関心を深める。	ワークシート・中間考査および期末考査	ワークシート・中間考査および期末考査	学習状況・ワークシート
3学期	一年間を振り返る	今年(2027 年1月)の本試験に再挑戦 実験	a:　細胞分裂中の細胞を観察し,分裂におけるどの時期かを判断し,適切なスケッチを行うことができる。 b:実験の方法や各操作の意義について考えることができる。 c:実験の内容について考察し、まとめて発表する。	ワークシート・学年末考査	ワークシート・学年末考査	学習状況・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度